

個人の尊厳を大切にする安心の日野へ

「財政が厳しい」と言って負担を押しつけ、「自己責任」などと言ってさらに人々を追い詰める——いま、この政治の不遜が、人々の暮らしを痛めつけ、人としての尊厳さえ奪っています。

誰もが、一度しかない人生を、その人らしく尊厳を持って暮らしていく、そんなごく当たり前の社会、日野に変えていきたいと、再び決意しました。

中野あきと

前・日野市議会議員 日本共産党

プロフィール 福岡県久留米市生まれ。49歳。中央大学法学部卒。前市議（5期19年）。昨年7月の都議選に挑戦するも惜敗。市議会副議長、農業委員など歴任。オフはもっぱら本屋さんや日帰り温泉へ。子ども時代は少年野球、柔道、バレーボールにハマったスポーツ少年でしたが、現在は？。家族は妻、長女（高2）、次女（中3）。



明るい日野

日本共産党日野市委員会の見解を紹介します。
2018年1・2月号外 日野市石田427-10 小林功一

ご意見・ご感想をお寄せください
電話 042-582-0505 FAX 042-843-3212

市政への力ムバツクの決意を歓迎

～中野あきとさんの活躍に期待します～

地方自治の現場で大いに
力を発揮してほしい



弁護士 窪田 之喜

市民生活を守るために5名の共産党議員団が絶対必要です。中野あきとさんは、平山6丁目の違法生コン工場移転問題やごみ焼却場・違法ごみ搬入道路問題など、いつも市民運動とともに歩み、徹底した調査研究でその知恵袋になってきました。市政への復活を切に願っています。

日野市でまた頑張ってもらえてうれしい

都議選後、どうされるのか心配していました。できれば日野市でまた頑張って欲しいと思っていたので、心底うれしいです。市民のために、私たち視覚障害者のために誠実にがんばっている中野さんを、心から応援しています。



視覚障害者団体役員 川原井 信吾

都議選は残念でしたが、こんどは絶対に

ことあるごとに、子どものことや生活の悩みで相談にのっていただいて、都議選、応援させていただきました。

結果は本当に悔しくて申し訳なくて。でも、また市政でがんばられるとのこと。ほんとよかったです。こんどは絶対に、絶対に！



清澤 宏美

ごあいさつ

りました。

子育てのことから介護、ミニバスなどの公共交通の問題まで、みなさんの切実な願いに応えたいと挑戦しましたが、力不足であと一歩及ばず、たゞん悔しく申し訳ない結果となりました。

「863票差、ほんと惜しかったね。引き続き私たちのために頑張って欲しい」「残念だったけど、こうなつたら日野市政で再び活躍してほしい」——選挙後、たくさんのみなさんから、激励やご心配、ご要望をいただいてきました。本当にありがとうございました。みなさんの思いにしっかり応える選択をと悩み、考えてきました。

そしてこの度、私は、再び日野市政に挑戦することを決めました。軒並み値上げ・有料化の大計画（第5次行革実施計画）をはね返し、市民の暮らし、個人の尊厳が大切にされる日野へ全力を尽くします。どうぞよろしくお願ひいたします。



中野 あきと



市議として5期19年
“ためされずみ”の
政治家です

中野あきと

徹底した追及で悪政と対決 一国保税値上げ・ごみ・貧困問題まで

事実を示し、道理に立つて追及する中野さんの論戦には定評があります。

国民健康保険税の連続値上げが行われた際の決算議会では、市が示した数字の矛盾を指摘し、「数字でみれば値上げの根拠となつたシミュレーションとは違つている」と認めさせました。

地元自治会・住民の意思を無視したごみ広域化問題では、市の法令違反を指摘し、「地元の合意を含めて市民的な合意はとつていかなければならない」と市も答弁せざるを得ませんでした。

「理にかなつた鋭い質問なので、つい認めざるを得ず、いつも緊張させられていた」と元幹部職員も中野さんを評価します。

まち壊し許さず住環境を守る 一とことん調査・論戦で市政動かす

緑と清流や住環境をおびやかすさまざまな乱開発とたたかってきた中野さん。

脱法的な地下室マンション防止や、地域と調和するマンションづくりのため、お手本になる全国16の自治体に足を運び調査し、くりかえし提案。「斜面地の開発規制条例」(2006年)や「まちづくり条例」(2007年)に結実しました。



違法生コン工場問題の解決
騒音・振動に苦しむ住民の方からの相談をきっかけに、法律上の問題から全国の事例まで徹底調査。市議会で4度にわたって論戦、市の態度を変えさせ、20年以上放置されていた問題を解決へ導きました。

市長も認める論戦

2012年9月議会での貧困問題の質問では、当時の市長がつぎのように答弁しました。「非常に説得力のある弁論を伺いました。…中野議員の議論はいつもなかなか感銘深く伺うわけでございますが、今回も、私も市長として考えるべき原点はどこなのかということを改めて教えられたような気がします。」



いろんな感想が寄せられる 中野事務所ニュース「緑と清流」

中野さんが市議に初当選した翌年の2000年から毎月発行を続け、今年で18年目になります。地域の方に編集委員として加わっていただき、多面的な情報発信に心がけて今まで続けてきました。

「情報共有と市民参加は住民自治の大前提。みなさんのご意見・ご感想を生かしながら、これからも編集委員のみなさんとともに、わかりやすい情報発信に努めます」と中野さんは語ります。



一人ひとりの 尊厳を守る政治の 実現に全力

中野あきと

働きづめの父が倒れ感じた疑問が 政治家としての原点

福岡のサラリーマン家庭に生まれ育った中野さん。高校生の時、働きづめだったお父さんが脳梗塞で3回も倒れるなか、「眞面目な人間が身体を壊すまで働かないと一つの家庭が成り立たない今の日本は異常ではないか」と感じたことが、政治家としての今につながっていると言います。

大学のサークルで、父親のように過労で倒れる労働者があとを絶たない社会の構造や、その不条理に屈しないでたたかっている人たちのことを学び、日本共産党入党。

その後、立候補の要請を受け、29歳で市議会議員に。以後、市当局、他会派も一目おか日本共産党市議団の論客として活躍してきました。

「困っている人がいれば一緒にがんばる」を貫いて

中野あきとさんは市議になつて以来、さまざまな住民運動にとりくんできました。いつも貫いてきたのは「困っている人がいれば一緒にがんばる」という精神。中野さんの初心です。

- ・二沢3丁目の斜面緑地の開発問題
- ・統廃合ではなく平山台小の存続を求める運動
- ・高幡の区画整理地域に持ち上がった変電所建設問題
- ・学校給食の民間委託反対運動
- ・豊田3丁目で持ち上がりした高層マンション建設問題
- ・旭が丘で持ち上がりした大規模マンション建設問題
- ・日野市立保育園の存続・充実を求める運動
- ・国民健康保険税の値上げ反対運動
- ・平山6丁目の違法生コン工場問題
- ・ごみ広域化・大規模焼却施設建設問題

住民とともに続けた区画整理学習会



複雑な区画整理問題を徹底的に勉強し、「区画整理学習会」を17年前から200回を超えて取り組んでいます。



この間、市政の大問題となっている「ごみ広域化」問題。強行をはかるとする市当局を追いつめる、中野あきとの鋭い論戦が待たれます。

写真はごみ広域化反対パレード

生活相談1100件 「人の痛みのわかる人」

市議初当選以来、約20年間に受けた生活相談は1100件以上。

中野さんは生活保護や税金に関する制度を徹底的に学習、どんな相談でも「いっしょに最後まで」の思いで相談者に寄り添いながら解決に努めています。高齢者からも「じっくり話を聞いてくれて、人の痛みのわかる人」という声が寄せられています。

生活のことで悩み、躊躇もあったのですが、中野さんに相談して、本当に助けられました。今、生きがいを感じて暮らしています。本当に感謝です。

新見 君子（南平在住）



height : 1 メートル 81 センチ

weight : 銳意調整中

中野あきとの活動地域

南平・平山・
平山公社住宅

中野あきとの重点政策



公共交通の抜本充実で気軽に出かけられるまちへ

- ミニバス南平・平山路線の増便、バス停の改善・充実を
- 南平台、南平駅前、南平5丁目にワゴンタクシーの導入を
- 市立病院へ乗り継ぎなしで行けるよう平山路線の改善を
- ワゴンタクシーの改善を（100円区間の設定、ドア・ステップの改善、最終便の18時台への拡大、土曜日の運行など）

待機児ゼロ・大規模学童の解消で、子育て安心のまちへ

- 認可保育園の抜本増設で保育園の待機児ゼロへ
- 45人以上の学童クラブの分設、全クラブへ正規指導員の配置を
- 私立幼稚園保護者をはじめとして費用負担の軽減を

人権、多様性が尊重されるまちを

- 実効性ある障害者差別禁止条例の制定を
- 同行援護、移動支援、コミュニケーション支援事業の月の利用時間制限の撤廃を
- 市の支援で重度障害者が生活できるグループホームを
- 発達障害、高次脳機能障害、難病、失語症の方への支援充実を
- LGBT・性的マイナリティへの差別をなくす条例を

住まいから介護まで、老後の安心を

- 高齢者向け家賃助成制度の拡充を（公社住宅居住者も対象に）
- 年金で入れる特養ホーム、グループホームの整備を
- 介護保険の重い利用料負担に対する市の支援を

駅前商店街の再生・農業支援で、安心で活力ある地域を

- リフォームや家賃への助成、専門家の派遣などで商店街の再生プロジェクトを
- 学校給食へ地元野菜等を提供する農業者への支援（運搬、品目、奨励金）拡充を
- 生産緑地制度の維持・拡充、農業体験農園、直売所の充実へ向けた支援を

子どもの豊かな「育ち」を支える学校・地域づくりを

- 少人数学級、特別支援教育のさらなる充実を
- 就学援助、高校生奨学金の拡充を
- 学校トレイの早期改修（洋式化）を
- 住民参加で全公園の総点検・リニューアルを

低収入・不安定な働き方から人間らしい賃金・待遇へ

- 公契約条例の制定で市の工事および委託等で働く人々の賃金・待遇の改善を
- 非正規職員の正職員化及び賃金・待遇の改善を
- 市が独自支援を行い介護・保育・障害者施設等で働く人々の賃金・待遇の改善を